

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称		国民年金事務費 [国民年金事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	4	国民年金費	目	1	国民年金費	事業番号	2	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)										
		☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		保険年金 課 高齢者医療年金 係				課長名		岩野 秀夫				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 5		
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書 (ページ)		63		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	国民年金被保険者					国民年金被保険者数						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
国民年金制度の周知、啓発、相談等を行い、市民の年金受給権を確保することが、安心できる市民生活につながる。					被保険者一人あたりの届出件数及び相談件数							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
国民年金法に基づく、法定受託事務(資格取得・資格喪失・種別変更受付、法定免除・申請免除・納付猶予・学生納付特例の受付、継続免除・未納者対策等所得情報提供、国民年金裁定請求の受付、死亡一時金・未支給年金請求の受付)として年金事務所への進達。協力・連携事務(窓口・電話による年金相談、口座振替・前納の促進、市報・ホームページによる制度周知啓発、その他)。					年金事務所への進達件数及び国民年金協力連携事務件数							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	17,882	17,535	17,195						
	成果指標	②の数値	件	0.6	0.5	0.4						
	目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)												
活動指標		③の数値	件	11,173	10,043	8,275						
3 経費	事業費(実績)		円	5,782,806	5,601,184	7,121,074	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	5,782,806	5,601,184	7,121,074						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	16,506,000	16,488,000	16,620,000						
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	22,288,806	22,089,184	23,741,074							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く											
	今後も制度等の改正が頻繁に起こることが予想されるため、引き続き、関係機関と調整を図り、事務が円滑に執行できるよう努めていく。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く											
	国民年金制度の動向を踏まえて、必要に応じて事務の見直しを行っていく。 国民年金事務費交付金による必要な財源の確保及び適正な人員配置。											